

自社保有装置機器



アフタークーラー仕様 エンジンコンプレッサー
 重量…約515kg
 サイズ(mm)…L1480×W750×H865
 空気量…2.5m³/min
 用途…各作業ツールへの供給、
 作業者エアラインマスクのエア供給



ウォータージェットポンプ
 NLB 35275DG(防音タイプ) 重量…3.4t
 最大圧力…2400bar サイズ(mm)…L3360×W1680×H1840
 最大水量…41リットル/分 圧力制御方式…電子パネル方式、
 エンジン…カミンズ(205kw) システムバルブ



通常作業用ハンドガンー式
 ウォータージェットポンプ1台につき
 2セットの稼働が可能
 用途…研り、
 劣化部除去、
 塗膜剥離

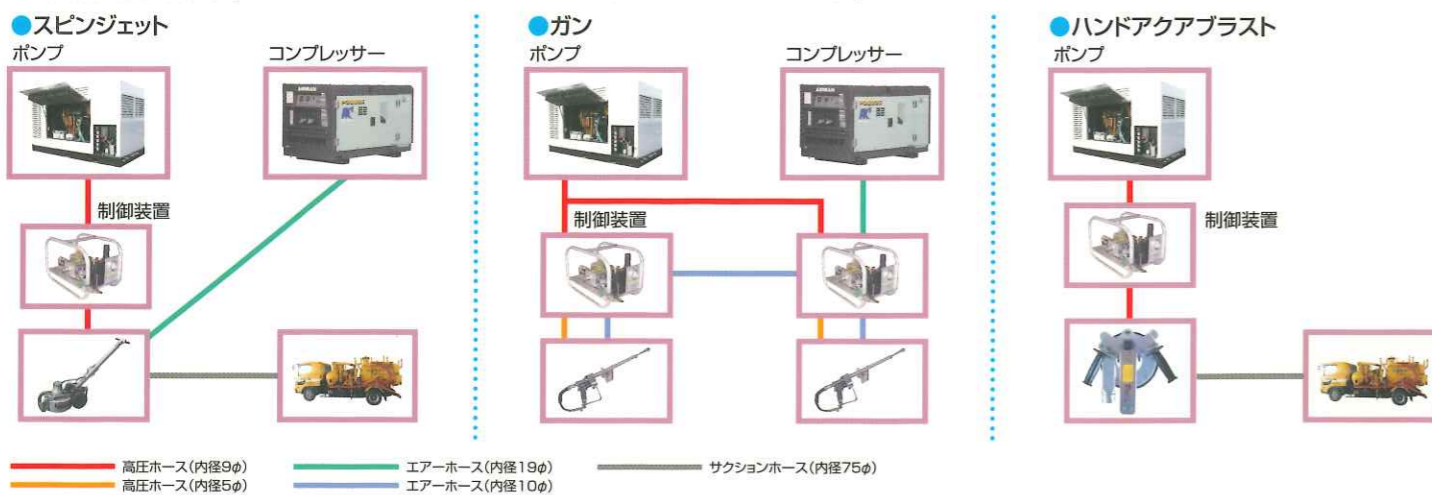
スピンジェット(床作業用・同時吸引型)
 重量…約62.6kg
 用途…塗膜剥離、表面剥離、
 コンクリート目荒らし



ハンドアクアブラスト
 (壁作業用・同時吸引型)
 重量…約6.4kg
 用途…塗膜剥離、表面剥離、
 コンクリート目荒らし

※本パンフレットはウォータージェット工法提案書をもとに作成しておりますが、記載の仕様および内容は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

機器構成図(スピンジェット・ガン・ハンドアクアブラスト)



株式会社レジンワーク

本社 〒561-0836 大阪府豊中市庄内宝町2-9-37
 TEL 06-6332-6559 FAX 06-6332-6564
 東京支店 〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩2-22-1-A棟-102
 TEL 03-5654-6216 FAX 03-5654-6217
 九州営業所 〒800-0255 福岡県北九州市小倉南区上葛原2-22-25
 TEL 093-967-1401 FAX 093-967-1402



株式会社レジンワーク

WATER JET

ウォータージェット工法

高圧の水噴流を利用し、塗膜剥離や腐食したコンクリートの劣化部を除去します。



施工前

- 高圧の水噴流を利用し、対象物を破碎でき、色々な分野で利用できます。
- 弊社では、圧力:Max240Mpa(2353kg/m²)
水量:Max41L/minの機器を使用しています。
- 圧力・水量の調節により、幅広い用途に利用できます。
- 圧力・水量を調節することで特定の対象だけを取り除く選別破碎が可能です。
- 手はつり・サンドブラスト等の様々な欠点をウォータージェット工法により改善できます。
- 日本下水道事業団(JS)の下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針に採用されています。



施工中

施工後



施工前

■ハンドアクアブラスト



施工中

施工後



コンクリートの劣化部除去
塩素・硫化水素・炭酸化等で腐食したコンクリートの劣化部を除去します。

施工前



施工後



塗膜剥離

塗装・防食工事の前処理として、既設旧塗膜の塗膜剥離をします。

施工前



施工後



ウォータージェットの用途

- 処理場内(浄水・下水・汚水)の各処理槽の劣化部除去・塗膜剥離
- プールの塗膜剥離
- 各種プラントのタンク塗膜剥離・槽内洗浄・塔内洗浄・炉内洗浄・管内洗浄
- 工場内除害施設の各処理槽の劣化部除去・塗膜の剥離・スケール除去
- 工場内塗装ブースの付着塗料剥離
- 船舶の船体塗膜剥離や付着物の除去
- 車両(電車・バス)の外装塗膜の剥離
- 建造物外壁面の塗膜剥離・タイル施工前下地処理(目荒らし)
- 建造物の耐震補強工事時の表面処理
- 航空機の外装塗膜の剥離
- 滑走路のタイヤ痕除去・滑走路目荒らし
- 道路の白線除去

ウォータージェット工法の利点

【経費の削減】

1日の作業効率が標準60~100m²(劣化部除去作業)で工期の短縮が図れます。

【環境への配慮】

粉塵の飛散が抑えられます。

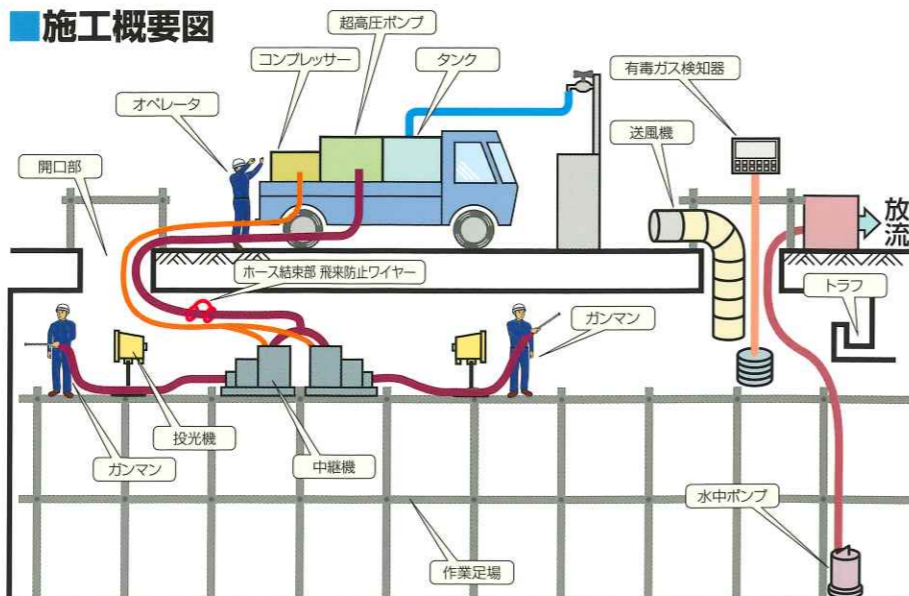
【材料コストの削減】

必要以上の削り出しが無く、断面修復時の材料を必要最低限に抑えられます。

【残存部への負担軽減】

振動が無く、残存部にダメージ(マイクロクラックが入るなど)を与えません。

施工概要図



	サンドブラスト	手はつり	ウォータージェット
工法概要	圧縮空気の流れの中に研磨材として乾燥珪砂を加え、その混合物を劣化コンクリート面にノズルから高速で吹き付け衝撃力により目的物の除去を行う。	電動又は、エアータッチャーを用いて、目的物の除去を行う。	水に圧力を加え、ノズルより噴流し、目的物の除去を行う。
工法の特徴(長所・短所)	● 鉄板等の塗装除去等に適している。 ● 石膏化部分の除去は可能だがFe層(酸化鉄層)の除去は不可能。 ● 処理面の強度が低い場合、反発強度が不足し除去が困難。 ● 残留溶解物や塩分が残る。	● 小面積施工時に適している。 ● 健全なコンクリートも除去するため、躯体へのダメージがあり、素地調整時の材料を過使用する。 ● 残留溶解物や塩分が残る。	● 石膏化部分、Fe層の除去が可能。 ● 処理面の強度が低い場合でも反発強度もなく除去が可能。 ● 除去程度が圧力/水量により調整が可能。(必要以上の除去を行わないことが可能) ● 残留溶解物や塩分を洗い流せる。 ● 中性化が躯体内部の深いところまで進んでいる場合、経済性が劣る。
作業環境	● 珪砂を吹き付けるため、多量の粉塵が発生し作業環境が悪い。	● 粉塵の発生が多く作業環境が悪い。	● 粉塵量が少なく、作業環境が良好。
産業廃棄物(社会環境)	● 珪砂+ガラ処分量が多い。	● ガラ除去深さが深い分、処分量が多い。	● ガラ+水は、通常ケースでは、場内処理となり、除去分ガラのみ。
実績	● 過去には多かった。 ● 既存塗膜の除去工法としての実績が多い。	● 少ない。 ● 構造上他工法の適用困難な施設に採用。	● 過去には少なかった。 ● 日本下水道事業団の技術指針に採用されており、標準化の傾向。